



文明の邂逅と融和

令和7年9月20日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

グローバリゼーションは、世界の文明の邂逅を与える現実である。西洋の合理主義という現実には競争原理とともに、世界の統一を与えるものである。

これらの背後に実体経済と金融経済が存在するものである。また世界は統一の言語を求め、それらが共有のルールを提案する。

これらは世界の統一の枠組みであり、インターナショナルソサエティとプリンシプルは、その共有性において世界の現実を与えるものである。

しかし世界においてこの文明が存在するものである。それらがこれらグローバルスタンダードすなわち西洋の思想と資本において自己を失うことはグローバリゼーションという現実における真実である。

しかし明察においてそれらの理解を求めるとき、それはラングレーにける思惑であり、CNNはその宣伝を行うのである。

それら現実に対して新たな世界と未来を提案することは、ラングレーの思惑を離れ、その理想を人類の進歩とともに世界へ提案することである。

文明という進歩は必ずその優位性を自己に有する。これがルーツと文化という相違性なのである。

これらは西洋が世界の文明を学術的な考察において有することは、その他の国家の脆弱さと完全な相違性を与えるものである。

すべては必ず原因を有するものであり、それらが唯一現実を可能とするものである。

多様な世界の文化はその進歩性における世界の統一へ自己を対するものであり、それらは自己の否定は西洋の合理主義における判断であることは理解されて良い。